

2018年2月期 第2四半期 決算説明会

2017年 10月 3日



パレモ・ホールディングス株式会社

当社は平成29年8月21日をもって、社名を「パレモ・ホールディングス株式会社」に変更し、平成29年3月31日に設立しました当社100%出資の「株式会社パレモ分割準備会社（平成29年8月21日付で「株式会社パレモ」に商号変更済み）」に、当社が営むアパレル事業、雑貨事業ならびにそれら関連する営業機能を承継し、当社グループは持株会社体制へと移行しました。

今後当社は、「株式会社パレモ」をはじめとするグループ会社の経営戦略の立案、経営管理を行い、事業会社は既存の事業に特化して取り組む事で、迅速な意思決定により事業環境の変化に柔軟な対応を可能にし、グループ全体の経営の効率化を進めてまいります。



パレモ・ホールディングス株式会社

1. 第2四半期決算の概要

・業績の概要	P 5
・損益計算書の概要	P 6
・純利益の状況	P 7
・資産、負債及び純資産の状況	P 8
・キャッシュ・フローの状況	P 9
・事業別の状況	P10
・既存店売上高前年比の状況	P11
・売上総利益率の状況	P12
・直買商品の状況	P13
・スクラップ&ビルドの状況	P14
・アパレル事業ブランド別の状況	P15
・雑貨事業ブランド別の状況	P16
・上期の取組み概況①	P17
・上期の取組み概況②	P18

2. 下期及び今期計画

・持株会社体制への移行	P20
・今期計画の概要	P21
・下期及び通期数値計画	P22
・中期目標進捗	P23
・今期の方針	P24
・下期の施策	P25
・アパレル事業 ブランドコンセプト	P26
・雑貨事業 ブランドコンセプト	P27

3. 株主様情報

・株主様構成比	P29
・株主様還元策	P30
・お問合せ先	P31

1. 第2四半期決算の概要

(単位:百万円)

	2017/2期 上期実績	2018/2期			
		上期計画	上期実績	前年同期差	計画差
売上高	13,064	11,500	12,051	▲1,013	+551
営業利益	592	600	667	+74	+67
経常利益	603	605	684	+81	+79
四半期純利益	363	500	850	+486	+350

売上高前期比 92.2% (既存店売上高前年比 99.8%)

売上総利益率 55.7% (前年同期差 +0.3%)

営業費前期比 91.0% (前年同期差 ▲599百万円)

出退店 出店:17店 退店:31店 (純減:14店)

損益計算書の概要

(単位: 百万円)

	2017/2期 上期実績	2018/2期		
		上期実績	前年同期差	前年同期比
売上高	13,064	12,051	▲1,013	92.2%
売上総利益 (売上総利益率)	7,232 55.4%	6,707 55.7%	▲524 +0.3%	92.7% —
営業経費 (営業経费率)	6,639 50.8%	6,040 50.1%	▲599 ▲0.7%	91.0% —
営業利益 (営業利益率)	592 4.5%	667 5.5%	+74 +1.0%	112.6% —
経常利益 (経常利益率)	603 4.6%	684 5.7%	+81 +1.1%	113.4% —
四半期純利益	363	850	+486	234.0%

純利益 363 百万円 ⇒ 850 百万円

営 業 利 益	592 百万円 ⇒ 667 百万円
経 常 利 益	603 百万円 ⇒ 684 百万円
特 別 利 益	1 百万円 ⇒ 161 百万円
特 別 損 失	95 百万円 ⇒ 17 百万円
減 損 損 失	56百万円 ⇒ 12百万円 減損店舗数 21店 ⇒ 14店
除 却 損 失	4百万円 ⇒ 1百万円 閉店店舗数 35店 ⇒ 31店 改裝店舗数 14店 ⇒ 5店

- ・退職年金制度変更に伴う特別利益159百万円
- ・繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額(▲109百万円)

資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2016年8月 期末	2017年2月 期末	2017年8月 期末
総 資 産	10,810	10,984	10,391
商 品	1,625	1,675	1,583
投資その他資産 ※主に保証金	4,923	4,525	4,530
負 債	8,693	8,907	7,464
長 短 借 入 金	2,300	2,600	1,749
純 資 産	2,116	2,076	2,927

純資産 : 2,927百万円 28.2% (四半期純利益850百万円)

長短借入金 : 850百万円の圧縮 (期首対比)

キャッシュ・フローの状況

フリーキャッシュ・フロー 947百万円 ⇒ ▲358百万円

(単位:百万円)

	2017/2期(上期)	2018/2期(上期)
営業キャッシュ・フロー	542	▲301
投資キャッシュ・フロー	404	▲57
財務キャッシュ・フロー	▲0	▲850
現金及び現金同等物の増減額	946	▲1,209

営業CF 税引前当期純利益 508百万円 ⇒ 828百万円

※棚卸資産の減少幅が前期に比べ縮小、前期分の業績連動賞与の支払

投資CF 新店17店舗等への投資 差入保証金の回収

財務CF 長短借入金の返済 850百万円

売上高構成比 アパレル事業 67.2%⇒67.0%(▲0.2%)

 雑貨事業 30.1%⇒30.4%(+0.3%)

既存店売上高：アパレル事業減収、雑貨事業増収

(単位:百万円、%)

	2017/2期(上期)		2018/2期(上期)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
アパレル事業	8,777	67.2	8,076	67.0	92.0
雑貨事業	3,929	30.1	3,663	30.4	93.2
その他	357	2.7	311	2.6	87.2
全社	13,064	100.0	12,051	100.0	92.2

既存店売上高前年比の状況

既存店売上高前年比 99.8%（前期は104.1%）

- ・第1Q： 99.9% 春休み苦戦、GW以降初夏・夏物販売は好調
- ・第2Q： 99.7% アパレルで水着・浴衣が苦戦、雑貨事業好調

	3月度	4月度	5月度	第1四半期	
売 上 高	95.8	97.6	105.9	99.9	
客 数	99.3	99.7	110.0	103.1	
客 単 価	96.5	97.9	96.3	96.9	(単位：%)
	6月度	7月度	8月度	第2四半期	上 期
売 上 高	101.0	98.8	99.6	99.7	99.8
客 数	106.5	109.5	117.2	110.8	106.8
客 単 価	94.9	90.2	85.0	90.0	93.5

売上総利益率 55.4% ⇒ 55.7%

＜要因＞

アパレル事業 : 適正在庫定着、商品鮮度維持、商品回転は若干改善

雑貨事業 : 在庫の適正化が進捗し、商品回転は良化（鮮度改善）

（単位：％）

	2014/2期	2015/2期	2016/2期	2017/2期	2018/2期
上 期	54.5	53.7	54.9	55.4	55.7
下 期	54.0	54.5	54.4	55.8	—
通 期	54.3	54.1	54.7	55.6	—

直賃商品の状況

直賃 荒利益率 レギュラー商品 前期 55.6% ⇒ 今期 57.7%
 アパレル事業 全体 前期 59.9% ⇒ 今期 60.8%

全体的に取り組みが減少 ⇒ 当期はメーカー企画のトレンド商品調達強化

(単位: %)

		2017/2期 上期累計		2018/2期 上期累計	
		売上構成比	荒利益率	売上構成比	荒利益率
レギュラー商品	直賃	14.5	55.6	10.6	57.7
	その他	85.5	55.1	89.4	54.8
	合計	100.0	55.2	100.0	55.1
アパレル事業全体	直賃	16.3	59.9	12.1	60.8
	その他	83.7	57.2	87.9	56.8
	合計	100.0	57.6	100.0	57.3

出店 1店 ⇒ 17店 新規ブランドでの出店拡大

退店 35店 ⇒ 31店 不採算店舗並びに定借満了

	2016/2期		2017/2期		2018/2期	
	上 期	通 期	上 期	通 期	上 期	通 期 見通し
出 店	4	5	1	9	17	30
退 店	47	131	35	88	31	44
増 減	▲43	▲126	▲34	▲79	▲14	▲14
期 末 店 舗 数	657	574	540	495	481	481
店 舗 投 資 額	131	160	126	290	281	700

(設備投資額単位:百万円)

アパレル事業ブランド別の状況

- ・新規ブランド継続拡大 (『Ludic Park』『Lilou de chouchou』『DAISY MERRY』)
- ・不採算店舗の整理はほぼ終了、定借満了による退店は今後も発生

	出 店	退 店	変 更	増 減	期末
レギュラー店舗	10	12	0	▲2	272
GAL FIT , SUZUTAN, etc	0	12	▲1	▲13	213
LudicPark,9SQUARE	6	0	0	6	9
Lilou de chouchou	4	0	1	5	9
DAISY MERRY	0	0	0	0	4
RecHerie	0	0	0	0	23
DOSCH	0	0	0	0	14
ラージサイズ店舗	0	1	0	▲1	44
アパレル事業 合計	10	13	0	▲3	316

雑貨事業ブランド別の状況

- ・『illusie300』出店強化、雑貨事業の柱へと育成
- ・『Siebelet』『木系土・Hare no hi』中心に不採算店舗を整理

	出 店	退 店	変 更	増 減	期 末
雑貨事業店舗	7	17	0	▲10	150
Siebelet	2	12	0	▲10	63
illusie300	4	1	0	3	40
INCENSE	1	0	0	1	32
木系土・Hare no hi	0	4	0	▲4	15
複合店(※)	0	1	0	▲1	15

(※)複合店は、複数のブランドを併設した店舗です。

1) 基幹事業の基盤固め（永続的安定成長の基礎）

＜アパレル事業（レギュラー業態）＞

- ① 適正商品回転の維持 ⇒ 春商戦の出遅れを軌道修正（夏物においては順調な推移に）
- ② 新規ブランド毎のMD確立 ⇒ 課題はあるものの徐々に進捗（DaisyMerryはMD修正）

＜アパレル事業（ラージサイズ業態）＞

- ① 単独店、併設店の商品供給見直し ⇒ MD設計に課題（トレンド、ベーシックのバランス）
- ② 新店軌道化とネット販売強化 ⇒ 新店は顧客化進まず苦戦、ネットも伸長するも計画は未達

＜雑貨事業（バラエティ雑貨業態）＞

- ① 店舗特性別MDの再編 ⇒ 立地客層再分析による店舗タイプ分けを実施しMDを再編
- ② 商品鮮度改善 ⇒ 不振在庫処理、新規商品のエイジング管理が進捗し商品鮮度が改善

2) 増収増益に向けた基盤構築（新ブランドの軌道化）

＜アパレル事業＞

- ① 新ブランドでの出店と改装 ⇒ 新規3ブランド22店舗に増加（新店10店舗、改装1店舗）
- ② ラージサイズ市場でのシェア拡大 ⇒ 同業他社も拡大基調、当社苦戦（ネット拡大も課題）

＜雑貨事業＞

- ① MD再編、既存店回復 ⇒ 立地客層再分析による店舗タイプ分けを実施しMDを再編
- ② イルーシー300中心に出店 ⇒ 今期4店舗出店、好調に推移（下期以降も積極出店）

3) 健全な経営基盤の構築（自立した経営体制）

- ① 恒常的な欠員の解消 ⇒ 全社プロジェクトによる取組み開始（一進一退の状況）
- ② 次世代リーダーの育成、若手本部スタッフ登用 ⇒ 持株会社体制移行に伴い体制整備

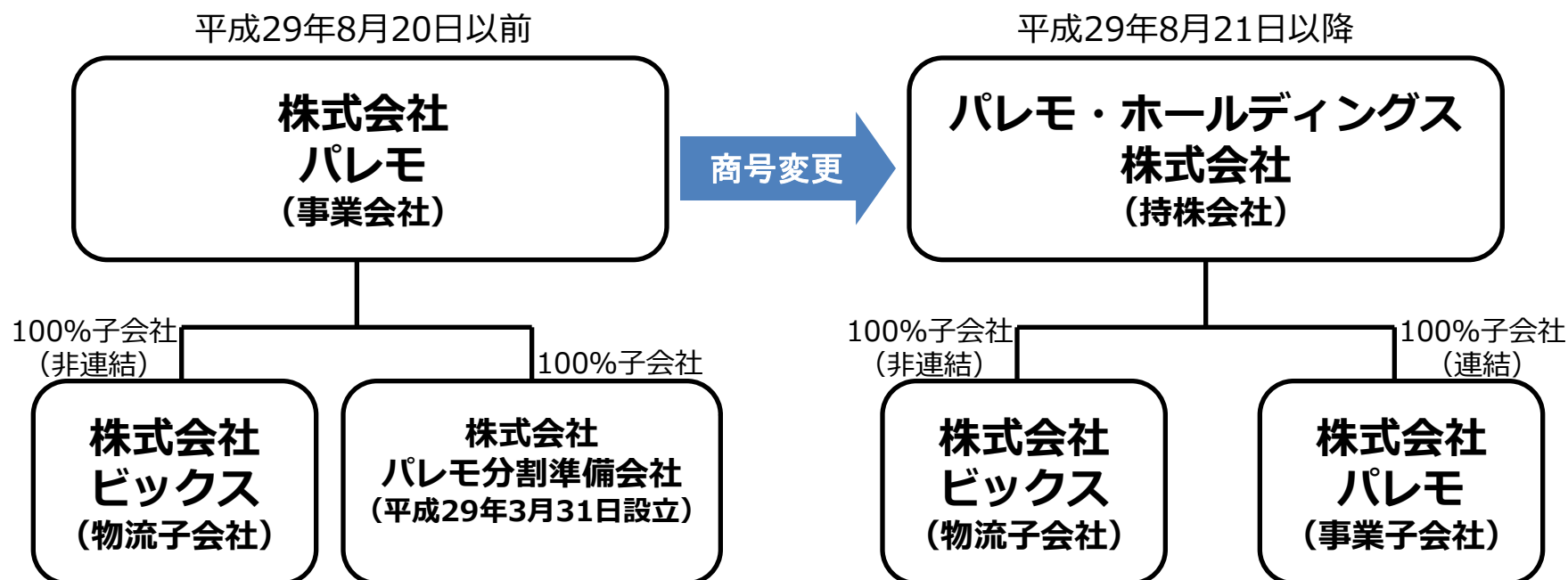
2. 下期及び今期計画

◆本資料をご覧ください上での留意事項◆

当社は、平成29年8月21日付けで持株会社に移行するとともに、平成30年2月期第3四半期より、連結決算に移行いたします。つきましては、本資料「2. 下半期及び今期計画」に記載の下期計画及び通期計画数値は連結決算後の数値であり、併記してある前期との数値比較は持株会社移行前における(株)パレモ単体数値との比較となります。

移行の主たる目的

- ☆経営効率の向上・・・経営戦略、経営管理をHDが担い、事業会社は本業に特化
- ☆変化への対応力強化・・・迅速な意思決定によるマーケット変化への対応
- ☆次世代リーダーの育成・・・子会社での若手登用、次世代の経営を担う人財を育成



今期計画の概要

(単位:百万円)

	2017/2期	2018/2期		2017/2期	2018/2期	
	下期実績	下期計画	前年同期差	通期実績	通期計画	前年同期差
売上高	11,628	10,948	▲680	24,693	23,000	▲1,693
営業利益	35	82	+47	627	750	+122
経常利益	42	75	+33	645	760	+114
純利益	▲39	49	+88	324	900	+575

売上高前期比見通し

(既存店売上高前年比)

下期: 94.2%

(99.0%)

通期: 93.1%

(99.4%)

売上総利益率改善

下期: +0.3%

通期: +0.3%

営業経費の前期比

下期: 93.9%

通期: 92.4%

出退店の年間計画

出店: 30店
(前期 9店)

退店: 44店
(前期 88店)

下期及び通期数値計画

(単位:百万円)

	2017/2期	2018/2期			2017/2期	2018/2期		
	下期実績	下期計画	前期差	前期比	通期実績	通期計画	前期差	前期比
売上高	11,628	10,948	▲680	94.2%	24,693	23,000	▲1,693	93.1%
(既存店前年比)	103.6%	98.5%	▲5.1%	—	103.9%	99.5%	▲4.4%	—
売上総利益	6,489	6,142	▲347	94.6%	13,721	12,850	▲871	93.6%
(売上総利益率)	55.8%	56.1%	+0.3%	—	55.6%	55.9%	+0.3%	—
営業経費	6,454	6,059	▲394	93.9%	13,094	12,100	▲994	92.4%
(営業経费率)	55.5%	55.3%	▲0.2%	—	53.0%	52.6%	▲0.4%	—
営業利益	35	82	+47	233.8%	627	750	+122	119.5%
(営業利益率)	0.3%	0.8%	+0.5%	—	2.5%	3.3%	+0.8%	—
経常利益	42	75	+33	178.1%	645	760	+114	117.7%
(経常利益率)	0.4%	0.7%	+0.3%	—	2.6%	3.3%	+0.7%	—
当期純利益	▲39	49	+88	—	324	900	+575	277.5%

中期目標進捗

		30期 2015/2期		31期 2016/2期		32期 2017/2期		33期(当期) 2018/2期		34期 2019/2期	
収益改善目標				営業利益 黒字化(達成)		当期純利益 黒字化(達成)		減収 増益(見通し)		増収増益 (目標)	
営業利益 (33期下期及び 通期は計画)	(百万円)	金 額	前期差	金 額	前期差	金 額	前期差	金 額	前期差	金 額	前期差
	上 期	▲ 248	▲ 591	255	+ 504	592	+ 337	667	+ 74	—	—
	下 期	▲ 476	+ 347	▲ 119	+ 357	35	+ 154	82	+ 47	—	—
	通 期	▲ 725	▲ 243	136	+ 861	627	+ 491	750	+ 122	—	—
出退店	出 店	14店		9店⇒5店		11店⇒9店		30店		50店	
	退 店	94店		100店⇒131店		75店⇒88店		30店⇒44店		30店	
＜基盤変革＞											
ブランドの選択と集中				→アパレル再編、レギュラー事業一本化				→新ブランド育成、出店拡大			
不採算店舗削減				→不採算店舗前倒し閉店、赤字店舗縮小				→既存店舗契約更新対策(先行投資)			
コスト低減				→ローコスト化推進プロジェクトによる経費削減				→ローコスト体質定着化			
＜収益性強化＞											
MDの変革				→商品供給の最適化、在庫の適正化注力				→雑貨事業の不振在庫処理が進行			
サービスの変革				→笑顔のサービスをテーマに取り組み		→欠員恒常化		→全社的な欠員対策への取り組み開始			

＜今期方針＞

**利益体質の定着と永続的安定成長への基盤固め
事業構造改革の完遂と再成長に向けた体制づくり**

＜抜本施策の概要＞

1) 基幹事業の基盤固め（永続的安定成長の基礎）

アパレル レギュラー、ラージサイズ事業の安定化 ⇒ 商品鮮度維持

2) 増収、成長に向けた基盤構築（新ブランドの軌道化）

アパレル新ブランドでの出店加速 ⇒ MD構築と並行して注力

3) 健全な経営基盤の構築（自立した経営体制）

親会社変更後における自立経営、次世代リーダーの育成に注力

1) 基幹事業の基盤固め（永続的安定成長の基礎）

- ① アパレル・レギュラー業態は引き続き、カテゴリー別MDのブラシュアップ（商品回転維持）
- ② ラージサイズ業態は、適時（トレンドと実需）、適品（価値向上）、適量（鮮度改善）を追求
- ③ 雑貨事業はバラエティ雑貨の店舗タイプ別MD確立と、インセンス・ハレノヒのリブランディング

2) 増収、成長に向けた基盤構築（新規出店とネット販売強化）

- ① アパレル事業は新ブランドで、雑貨事業はイルーシー300での出店を拡大
- ② ネット通販拡大に向けた体制構築（当面はラージサイズの販売を強化）

3) 健全な経営基盤の構築（新体制下での人財戦略）

- ① 正社員及び地域社員の採用拡大（経験者中途採用と新卒採用の活動強化）
- ② グループ経営体制の強化（事業子会社含めた内部統制の整備と、次世代リーダーの登用）

ブランド	コンセプト
GAL FIT	「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。
suzutan	「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。
Lilou de chouchou	いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。
DAISY MERRY	大人の心と少女の心を持ち合わせたいくつになっても可愛くオシャレでいたい女性に向けて・・・可愛いだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。
Ludic Park	遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドを着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。
Recherie	「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。
DOSCH	「クール」をキーワードに、流行に敏感な女性に向けて最新のトレンドファッションを提案します。
SUPURE LARGE SIZE	「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。
Re-J	「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

ブランド	コンセプト
	木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。
	「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。
	「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。
	「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。
	「MYBAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」 自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

3. 株 主 様 情 報

株主様構成比

株主様数 6,887名(2017.2.20現在) ⇒ 6,712名(2017.8.20現在)

エンデバー・ユナイテッド社 持株比率 50.11%(2017.8.20現在)

	2016年8月20日			2017年2月20日			2017年8月20日		
	株主数		株式数	株主数		株式数	株主数		株式数
個人株主・他	6,955名	96.6%	29.2%	6,651名	96.6%	34.9%	6,480名	96.5%	32.5%
国内法人	190名	2.6%	64.2%	188名	2.7%	63.7%	178名	2.7%	51.8%
機関投資家	32名	0.4%	6.2%	28名	0.4%	1.3%	30名	0.4%	15.4%
外国法人・個人	20名	0.3%	0.4%	20名	0.3%	0.1%	24名	0.4%	0.3%
合 計	7,197名	100.0%	100.0%	6,887名	100.0%	100.0%	6,712名	100.0%	100.0%

配 当 2018年2月期 期末配当にて復配予定

	2014/2期	2015/2期	2016/2期	2017/2期	2018/2期(予定)
中 間 配 当 金	5円	3円	0円	0円	0円
期 末 配 当 金	5円	0円	0円	0円	3円
年 間 配 当 金	10円	3円	0円	0円	3円

	2014/2期末	2015/2期末	2016/2期末	2017/2期末	2018/2期(中間)
資 本 金	1,229	1,229	1,229	1,229	100
資 本 剰 余 金	1,433	1,433	1,104	1,104	1,979
利 益 剰 余 金 他	1,878	▲404	▲581	▲256	847
株 主 資 本	4,541	2,258	1,752	2,076	2,927

※資本金および資本準備金の額を減少し、欠損を填補。(効力発生日:平成29年7月1日) (単位:百万円)

株 主 優 待

300株以上1,000株未満 = 1,000円のクオカード

1,000株以上 = 3,000円相当のカタログギフト

<2017年2月20日現在>

- ・住所 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
- ・TEL 0587-24-9771
- ・FAX 0587-24-9710
- ・担当者 <IR担当役員>
常務取締役 管理担当 永井 隆司
E-MAIL T-nagai@palemo.co.jp

・この資料には、パレモ・ホールディングス株式会社(事業会社(株)パレモ含む)の現在の計画、確信及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。

・これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響をあたえるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、様々な要素により、これらの見通しとは異なる場合があります。